

授業科目等の概要

(工業専門課程 自動車整備学科) 2026年度																	
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員			企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	実務経験者	
1		○		PCプラクティス	顧客データの管理、伝票の作成など、多くの仕事にパソコンを利用しており、整備士もパソコンを使いこなす必要がある。表計算ソフト(Excel)の使用法を中心に講義する。	1前	15	1		○		○			○		
2		○		ビジネスマナー	社会人として必要な一般的常識、マナーについて講義する。また、自動車販売会社の人事担当者による講義を実施し、企業が求める人材を把握する。	1後	20	1	○			○		○			
3			○	日本語 1	留学生を対象とし、聴解・読解・会話について、総合的な日本語能力の向上を目的に授業を実施する。	1前	25	1		○		○			○		
4			○	日本語 2	継続して日本語教育の必要である留学生を対象とし、日本語能力の向上を目的に授業を行う。	1後	25	1		○		○			○		
5			○	日本語 3	継続して日本語教育の必要である留学生を対象とし、日本語能力の向上を目的に授業を行う。	2前後上	35	1		○		○			○		
6	○			安全科学	自動車整備士が知っておくべき安全の知識を修得する。作業中の安全、災害時の対応、損害を受けた場合の保証の問題等について講義する。	1前	15	1	○			○		○		○	
7	○			図学基礎	自動車の構造、機能等を理解するためには図面を読みとる能力が必要となる。図面に対する約束ごとを講義し、プリントに従って演習を行う。	1前	15	1		○		○		○		○	
8	○			自動車概論	将来自動車関連産業にかかわる者にとって必要な自動車の教養科目であり、自動車産業の成り立ちから、車社会の問題、自動車に係わる環境問題について講義する。	1前	15	1	○			○		○		○	
9	○			燃料と油脂	原油から精製されるガソリンや軽油、LPG等の燃料や、部品の潤滑に使用される潤滑油等、自動車の走行に重要な働きをする燃料・油脂の精製法や特性等を理解する。	1前	15	1	○			○		○		○	
10	○			自動車材料	自動車部品は、要求される性質で、金属、非金属、ゴム、ガラス、プラスチックなどを使い分けている。要求される性質とそれに適合した材料及びその性質について講義する。	2前	20	1	○			○		○		○	
11	○			電気工学	自動車の中で、重要な役目を担う電気装置を理解するために、電気磁気的基础、直流、交流回路の基本的な理論を講義する。	1前	15	1	○			○		○		○	
12	○			自動車工学 1	自動車に関する基本的な構造や走行・停止の原理などを理解し、機械工学の基礎的な知識を学ぶ。	1前	15	1	○			○		○		○	
13	○			自動車工学 2	計算の基本や単位の換算について、解説と演習による復習を行った後、自動車に関する基本的な機械工学計算について理解する。	1後	20	1	○			○		○		○	
14	○			自動車工学 3	二級国家試験を念頭に置き、機械工学の基本を復習し、応用計算の講義と演習を行う。	2前	15	1	○			○		○		○	

授業科目等の概要

(工業専門課程 自動車整備学科) 2026年度																	
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員			企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	実 務 経 験 者	
15	○			自動車工学4	二級国家試験の工学問題について演習と解説を行い、機械工学の知識と応用計算力の向上を目指す。	2後	34	2	○			○		○		○	
16	○			エンジン・1	ガソリン・エンジン、ディーゼル・エンジンの基本的な構造・作動について講義する。	1前	15	1	○			○		○		○	
17	○			シャシ・ボディ1	自動車の基本運動性能である「走る、曲がる、止まる」の概要について、その機構の基本的な構造作動を講義する。	1前	15	1	○			○		○		○	
18	○			カー・エレクトロニクス1	自動車の電気装置のうち、エンジン電装品である、バッテリー、スタータ、オルタネータ等の基本を講義する。	1前	15	1	○			○		○		○	
19	○			ガソリン・エンジン2	ガソリン・エンジン内部の各構成部品の構造・役割を理解し、電子制御式燃料噴射装置やキャブレターなどの燃料装置の構造・機能について学ぶ。	1後	20	1	○			○		○		○	
20	○			ディーゼル・エンジン2	自動車用ディーゼルエンジンの燃料装置を中心に、ガソリン・エンジンと比較しながら、その構造と作動を理解する。	1後	20	1	○			○		○		○	
21	○			シャシ・ボディ2	動力伝達装置のマニュアル・トランスミッション、デファレンシャル、また、制動装置のドラム・ブレーキ、ディスク・ブレーキなどの構造と作動を理解する。	1後	20	1	○			○		○		○	
22	○			カー・エレクトロニクス2	始動装置・充電装置・点火装置の基本回路について解説する。また、ライトなどの車体電気装置にも触れ、電気装置に関するトラブル・シューティングの知識についても学ぶ。	1後	20	1	○			○		○		○	
23	○			二輪基礎	燃料装置やサスペンション等について、二輪車に特有な装置の構造作動を解説する。	1後	20	1	○			○		○		○	
24	○			ガソリン・エンジン3	二級自動車整備士にとって必要となる、最新型エンジンの技術について、その目的や必要性を含めて講義する。	2前	15	1	○			○		○		○	
25	○			ディーゼル・エンジン3	二級自動車整備士にとって必要な知識である、近年問題視されているディーゼル・エンジン排気ガス（PM、黒煙等）や新技術（コモンレールエンジン）について講義する。	2前	15	1	○			○		○		○	
26	○			シャシ・ボディ3	二級自動車整備士にとって必要な知識である、近年進歩がめざましい電子制御を応用した走行装置について講義する。	2前	15	1	○			○		○		○	
27	○			カー・エレクトロニクス3	二級自動車整備士にとって必要な知識である、各電気装置の特性やトラブル・シューティングについて講義する。	2前	15	1	○			○		○		○	
28	○			ガソリン・エンジン4	ガソリン・エンジンに関する二級自動車整備士試験問題の演習と解説を通し、エンジンの構造作動に関する理解を深める。	2後	34	2	○			○		○		○	

授業科目等の概要

(工業専門課程 自動車整備学科) 2026年度																	
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員			企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	実務経験者	
29	○			ジーゼル・エンジン4	ジーゼル・エンジンに関する二級自動車整備士試験問題の演習と解説を通し、エンジンの構造・作動に関する理解を深める。	2後	34	2	○			○		○		○	
30	○			シャシ・ボディ4	シャシ・ボディに関する二級自動車整備士試験問題の演習と解説を通し、シャシに関する装置の構造・作動に関する理解を深める。	2後	34	2	○			○		○		○	
31	○			カー・エレクトロニクス4	電気装置に関する二級自動車整備士試験問題の演習と解説を通し、電気装置の回路・作動に関する理解を深める。	2後	34	2	○			○		○		○	○
32	○			総合整備法	今まで学んだ専門科目の総仕上げとして、二級自動車整備士国家試験に100%合格できる実力を身につけることを目的とし、二級問題を中心に講義と演習を行う。	2後下	73	5		○		○		○		○	
33	○			車検・法規1	自動車に関する法律の解説で、道路運送車両法、道路運送車両施行規則、自動車点検基準などを理解する。	2前	15	1	○			○		○		○	
34	○			車検・法規2	新規・継続検査の法令、道路運送車両法の保安基準、通達等を理解する。又、検査の実施方法、検査機器の構造、作動及び測定要領、検査実施上の注意事項を理解する。	2後	34	2	○			○		○		○	
35	○			エンジン1	小型ガソリン・エンジンのオーバー・ホール	1前	53	1				○	○		○		○
36	○			シャシ1	基礎作業、日常点検、動力伝達装置（T/M、クラッチ）	1前	53	1				○	○		○		○
37	○			電気装置1	バッテリー、単体車体電装品	1前	53	1				○	○		○		○
38	○			基礎作業	ノギス、マイクロ・メータ測定法、車両日常点検、基礎工作作業	1前	53	1				○	○		○		○
39	○			二輪1	4サイクル・エンジンのオーバー・ホール、動力伝達装置	1後上	68	2				○	○		○		○
40	○			シャシ2	ブレーキ装置、走行装置（ステアリング、タイヤ）	1後上	68	2				○	○		○		○
41	○			シャシ3	MT車のトランスミッション脱着、トランス・アクスル	1後上	68	2				○	○		○		○
42	○			エンジン2	ジーゼル・エンジンのオーバー・ホール、測定作業、列型ポンプ	1後上	68	2				○	○		○		○

授業科目等の概要

	(工業専門課程 自動車整備学科) 2026年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員			企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	実務経験者	
43	○			電気装置 2	始動装置、充電装置	1 後下	30	1			○	○		○		○	○
44	○			電気装置 3	エンジン電装品、オシロスコープの取り扱い	1 後下	30	1			○	○		○		○	
45	○			エンジン 3	電子制御燃料噴射装置その 1	1 後下	30	1			○	○		○		○	
46	○			シャシ 4	実車ブレーキのオーバー・ホール、L S D	1 後下	30	1			○	○		○		○	
47	○			エンジン 4	実車エンジンの脱着、過給器	2 前	76	2			○	○		○		○	
48	○			エンジン 5	電子制御式燃料噴射装置その 2 トラブル・シュート	2 前	76	2			○	○		○		○	
49	○			シャシ 5	A T の構造作動、エア・ブレーキ、パワーステアリング	2 前	76	2			○	○		○		○	○
50	○			シャシ 6	車検・定期点検、4 輪ホイール・アライメント	2 前	76	2			○	○		○		○	
51	○			二輪 2	4 気筒用キャブレタの脱着、点検、調整。フロントフォークのオーバー・ホール	2 後上	53	1			○	○	○	○		○	○
52	○			電気装置 4	電装品の回路と作動、トラブルシュート、エアコン	2 後上	53	1			○	○		○		○	
53	○			エンジン 6	コモンレール、インジェクション・ポンプ、電子制御装置	2 後上	53	1			○	○		○		○	
54	○			エンジン 7	台上ジーゼルエンジンのオーバーホール、V 6 エンジン、水平対向エンジン、ロータリ・エンジン	2 後上	53	1			○	○		○		○	
55	○			G C 総合実習	電子制御式燃料噴射装置その 3 及び A T の総合点検	2 後下	30	1			○	○		○		○	
56	○			E 総合実習	特定整備（エーミング）及び電気装置の総合点検	2 後下	30	1			○	○		○		○	○

授業科目等の概要

(工業専門課程 自動車整備学科) 2026年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		実務経験者
合計				56 科目		74 (1948.6)			単位 (単位時間)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
必修科目をすべて修得。1年修了時限定科目1科目以上 2年修了時に学科40単位 (572h) 以上、実習30単位 (1143h) 以上を修得。 ※2026年度以前、既に在籍する者に係る進級・卒業基準は従前の例による。	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	20 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。